観光交流の発展と拡大を

地域で交流推進

12年は「日中国交正常化40周年」を記念する「日中国民交流友好年」だった。また本年13年は日中平和友好条約締結35周年の年にあたる。日中両国の観光部門が全国各地域で活発な交流活動を展開している。もちろん民間交流などの草の根交流も連綿と続いている。

「相手国の文化に感心を持ち、理解が深まれば、敬意が生まれる。芸術文化交流をすすめることで、相手の文化を尊重する気持ちが相互に生まれる。ここから中日両国間の観光交流をさらに発展、拡大させていきたい」。中国国家観光局東京事務所の張西龍首席代表はこう話す。

今年の中国観光は「美麗中国―ビューティフルチャイナ」がテーマ。芸術文化交流などを通じて、美しい中国の旅のイメージを醸成する。

中国文化観光芸術ウイーク

開幕式には福田元首相が出席、あいさつした

日中平和友好条約締結35周年を記念して、「美しき中国・文化長安―陝西書画名家展」が長崎歴史文化博物館で3月24日から29日まで開かれた。中国文化観光芸術ウイークの一環。

著名芸術家11人の作品約100点を入場料無料で展示。同11人に加えて芸術団も来日し、同博物館とハウステンボスで公演を行った。変面、京劇、中国舞踊を披露した。24日の開幕式には福田康夫元首相、程永華駐日中国大使、井手憲文観光庁長官も出席。文化交流、国民交流を通じて日中両国民の相互理解を深めるという開催趣旨を確認し、テープカットを行った。

同展覧会は中国国家観光局東京事務所、東京中国文化センター、新華社東京支局、中国駐長崎総領事館と長崎県、長崎県観光連盟、長崎歴史文化博物館が共催した。

昇龍道プロジェクト

中部運輸局、北陸信越運輸局と中部広域観光推進協議会は、中部北陸9県の自治体、観光関係団体、観光事業者などと協業して、中部北陸圏の観光の魅力を中華圏にPRし、インバウンド誘客につなげる活動「昇龍道プロジェクト」を積極的に展開している。

12年度は新華社、人民日報社と連携した情報発信や北京、杭州などへのPRミッションの派遣、上海世界観光博覧会（WTF）への出展などを行った。

13年2月22日から26日まで、上海の旅行会社、航空会社を招聘し、本年初夏からの旅行販売の造成、販売に向けた視察旅行を実施。25日には三田俊雄昇龍道プロジェクト推進協議会会長（＝中部経済連合会会長、中部国際空港利用促進協議会代表理事）、大村秀章愛知県知事、鈴木英敬三重県知事、國島芳明高山市長も出席し「上海と昇龍道との観光交流会」をウエスティンナゴヤキャッスルで開いた。

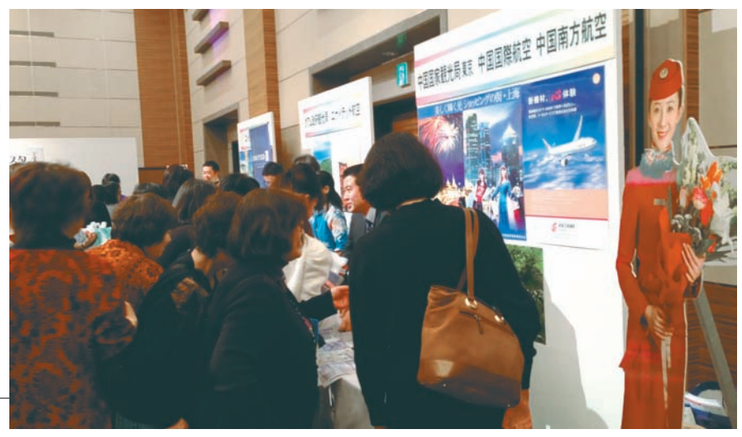
中国側からは、李哲駐名古屋中国総領事館領事、張西龍中国国家観光局東京事務所首席代表らが出席。

「上海と昇龍道との観光交流会」であいさつする張首席代表

ソラ旅フェスタ

仙台空港国際化利用促進協議会は2月12日、「素敵☆マダムのソラ旅フェスタ」「ソラ旅ガールズフェスタ」をホテルメトロポリタン仙台で開いた。中国国家観光局もプレゼンテーションとブース出展で中国への旅を呼びかけた。

マダム世代女性約170人、ガールズ世代女性約300人が来場。各国政府観光局や航空会社による旅のプレゼンテーションやファッションショー、タレントRIKACOさんのトークショーなどが行われた。



写真上は「ソラ旅フェスタ」の模様。写真下は中国国家観光局のブース、中国への旅を呼びかけた（ホテルメトロポリタン仙台）

芸術文化交流で相互理解と敬意醸成 観光交流を活発化

春節祭・35周年記念式典

中国国家観光局東京事務所、東京中国文化センターと山梨県は2月9日、「美麗中国・歓楽春節　春節祭in富士山2013『日中平和友好条約締結35周年』記念式典」を富士急ハイランドで開いた。

富士五湖観光連盟、富士急行の協力で2月1日から28日まで実施した同春節祭特別イベントの一コマ。

日中観光交流記念宣言書への署名、友好特別絵画書展の開会式、日中芸能交流イベントなどを行った。

写真上は式典の様子。中央左が程永華駐日中国大使、中央右が井手憲文観光庁長官。写真下は日中芸能交流イベント（富士急ハイランドで）

さっぽろ雪めぐり回廊

札幌市国内観光プロモーション実行委員会と北海道海外旅行促進事業実行委員会は2月4日から11日の期間、第64回さっぽろ雪まつりに合わせて「さっぽろ雪めぐり回廊」を札幌駅前通地下歩行空間で開いた。

地下道で雪まつり、アイヌ文化、道内観光、海外旅行などの各種PRイベント、フォトコンテストなどを行った。

海外旅行コーナーには中国国家観光局のほか、グアム政府観光局、マレーシア政府観光局、タイ国政府観光庁の3政府観光機関と、JTB北海道、エイチ・アイ・エスの2旅行会社がブースを出展した。

雪めぐり回廊での中国国家観光局ブース

記念シンポ

日本航空は1月15日、「日中国交正常化40周年記念シンポジウム～一衣帯水の未来に向けて～」を同社本社のある野村不動産天王洲ビル・ウィングホールで開いた。

韓志軍駐日本大使館公使が「日中の友好交流の歴史と未来への期待」を講演。続いて「日中観光交流に関する民間企業の取り組みと訪日中国人の受け入れ態勢について」をテーマに行われた座談会では、韓公使、張西龍中国国家観光局東京事務所首席代表、藤田直志日本航空常務執行役員旅客販売統括本部副本部長、吉澤勉ヨドバシカメラグッドコミュニケーション本部取締役本部長（＝ビジットジャパン大使、一衣帯水友好会代表）が登壇した。

JALの藤田常務執行役員（右）と張首席代表